

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆自治体病院が財政支援要望、25年度赤字が8割 材料費・給与費重荷

・全国自治体病院協議会と全国自治体病院開設者協議会は厚生労働省と総務省に財政支援の緊急要望書を提出。資材の高騰が響き、2025年度決算で84%の病院が赤字だったため、診療報酬の中間年改定を含む財政措置や地方交付税の拡充を求めた。医療物資確保や物価高騰への対応として、石油由来製品の安定供給も要望。

◆残業「45時間以内」の一律指導を緩和 厚労省、9月1日から

・厚生労働省は9月から労働基準監督署による残業削減の指導を緩和。いまは労使の合意で月100時間未満まで時間外労働が可能な企業にも月45時間以内に収めるよう一律に求めている。企業活動の萎縮につながるとの指摘を受けて見直す。労基署は企業が従業員の健康確保に向けた措置を取っているかなどを考慮して柔軟に対応する。

◆非上場株の相続評価で新ルール案 事業承継に配慮、優良企業は税負担増

・非上場株の相続税評価を巡り、国税庁は企業の簿価純資産や利益から算定する方式に一本化する新ルール案をまとめたことが分かった。類似の上場株を参考にする現行ルールは廃止する方向。規模が小さい中小・零細は税負担が減る見通しで、過度な節税抑止と円滑な事業承継の両立を狙う。2027年度の税制改正大綱に反映する。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆機械受注4～6月0.2%増、3四半期連続プラス データセンター関連好調

・内閣府が発表した機械受注統計によると、設備投資の先行指標とされる民需(船舶・電力除く、季節調整済み)は4～6月期に3兆1162億円と前期比で0.2%増えた。データセンター関連の需要が続き、3四半期連続のプラスとなった。データセンター関連が含まれる通信業、人工知能(AI)や半導体需要にかかわる電気機械がプラスに寄与した。

◆樹脂フィルム3%上昇、中東危機後の再値上げ浸透 食品包材に波及

・食品包装などに使う合成樹脂フィルムの価格が3%上昇し、最高値を更新した。原料樹脂の値上がりやエネルギーコストの高騰を受け、フィルムメーカーが5月以降に打ち出した追加値上げの一部が浸透した。包装資材の値上がりは菓子などの食品価格にも波及している。パン袋などに使う無延伸ポリプロピレン(CPP)フィルムなど。

◆ダイキン、エアコン基板の生産性6割向上 インド市場開拓へ新工法

・ダイキン工業は家庭用エアコンの制御基板の工法を刷新、生産性を6割高めた。インドの工場に順次導入。グローバルサウス(新興国・途上国)の開拓に向け、コスト競争力を高める。制御基板はエアコンの頭脳とも呼ばれ、圧縮機やファンなどの働きをコントロールする。基板にはコイルなど小ささまざまな部品をはんだ付けする。

《 注目商品 》

■三和シャッター、耐熱強化ガラス入り特定防火設備「ファイヤードV」

・耐熱強化ガラス入り特定防火設備「ファイヤードV」スチールタイプを発売。飛散防止フィルム貼りを可能に。飛散防止フィルムを組み合わせることで、破片の飛散リスクを低減。より高い安全性が求められる建築物にも安心してご採用いただける。



■サイエンス、国産にこだわった新シャワーヘッド

・同社が20年にわたり磨き続けてきたファインバブル技術の集大成の新シャワーヘッド。肌つやモード、頭皮モード、歯間モードの3つの吐水モードで、ファインバブルをより多く生成する新設計により、なめらかな肌あたりと高い洗浄力を実現。本体を約265gに軽量化。



■ノダ、HBW使用の狭小耐力壁キット

・真壁両面貼りの455ミリ幅仕様で狭小壁に対応する「HBW(構造用ハイベストウッド)」を使用した面材と縦・横の面材受材などをセットにした商品。柱と柱の間に面材を設置する真壁両面貼り仕様、壁倍率7倍相当で許容応力度計算に対応できる評定書を取得。

